

# 北部機械金属業界の景況動向

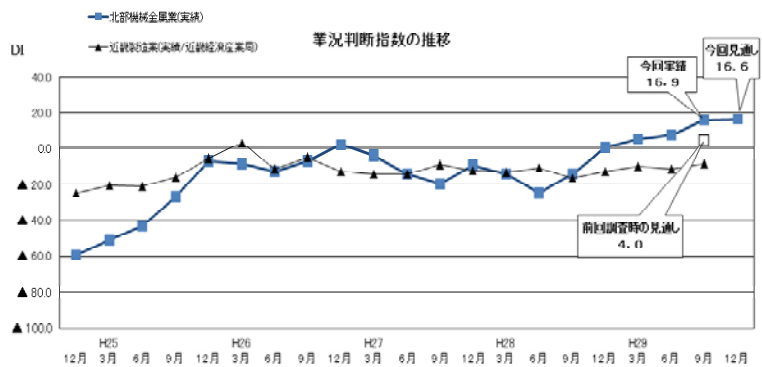
(2017年7~9月実績/2017年10~12月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業184社 【調査時点 平成29年9月下旬】
- 回答数：127社（回答率69.0%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:24、舞鶴市:20、綾部市:17、宮津市・与謝郡:15、京丹後市:51
  - ②取扱別 = 一般機械:49、電気機械:15、輸送機械:28、精密機械:16、その他:19
    - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等      電気機械…家電部品、電子部品等
    - 輸送機械…自動車部品、船舶等              精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1~9人:35、10~19人:29、20~49人:36、50~99人:14、100人以上:13
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

## — 調査結果 —

### 1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は 15.9 となり、4~6月期(以下「前回」)より8.7ポイント改善した(前回7.2)。地域別では、福知山市域が25.1(前回13.1)、舞鶴市域が-10.0(前回-5.0)、綾部市域が-12.6(前回-10.5)、宮津市・与謝郡域が13.3(前回-21.4)、京丹後市域が32.0(前回24.0)と舞鶴市及び綾部市域以外で改善の結果となった。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●10~12月見通しのDIは 16.6と、前回より12.6ポイント改善の見通しとなった(前回4.0)。地域別では、福知山市域が33.3(前回21.7)、舞鶴市域が5.0(前回0.0)、綾部市域が-29.5(前回-26.3)、宮津市・与謝郡域が13.3(前回-7.2)、京丹後市域が28.5(前回12.0)と、綾部市域以外で前回より改善の見通しとなった。

景況動向判断7~9月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	4.0	26.2	55.5		14.3
福知山市		33.4	58.3		8.3
舞鶴市	5.0	15.0	50.0		30.0
綾部市		18.7	50.0		31.3
宮津・与謝		13.3	86.7		
京丹後市	8.0	34.0	48.0		10.0

景況動向判断10~12月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	24.0	30.9	50.0		16.7
福知山市		37.5	58.3		4.2
舞鶴市	5.0	25.0	45.0		25.0
綾部市		17.6	35.3		47.1
宮津・与謝		20.0	73.3		6.7
京丹後市	4.1	36.7	46.9		12.3

### 1 採算状況

●7~9月の採算状況は、黒字とする企業が39.4%(前回34.9%)と4.5ポイント増加し、赤字とする企業は13.4%(前回13.5%)と0.1ポイント低下した。地域別では、黒字とする企業は福知山市域で50.0%と最も多く、宮津市・与謝郡域以外の地域で、黒字とする企業が赤字とする企業を上回っている。

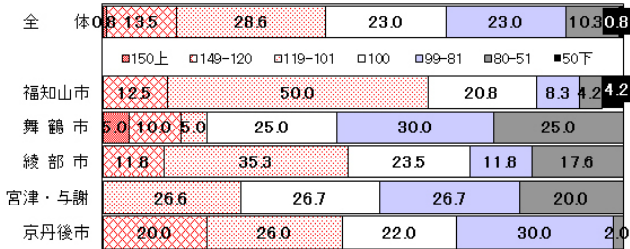
7~9月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字
全体	39.4	47.2	13.4
福知山市	50.0	41.7	8.3
舞鶴市	30.0	50.0	20.0
綾部市	41.2	17.6	41.2
宮津・与謝	13.3	66.7	20.0
京丹後市	44.0	54.0	2.0

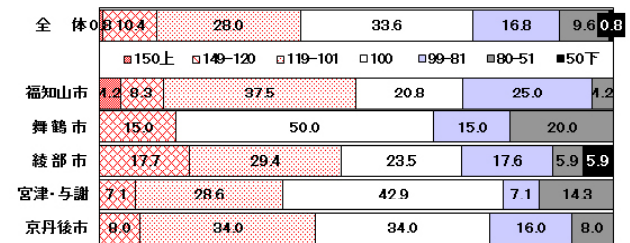
### 3 受注量

●7～9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業が65.9%（前回65.6%）と0.3ポイント増加した。対3か月前比100%以上を確保した企業は72.8%（前回59.0%）と13.8ポイント増加した。地域別では、3ヵ月前比で全地域、前年比で舞鶴市域以外の地域で5割以上の企業が100%以上の受注を確保できた。

7～9月受注量(前年比%)

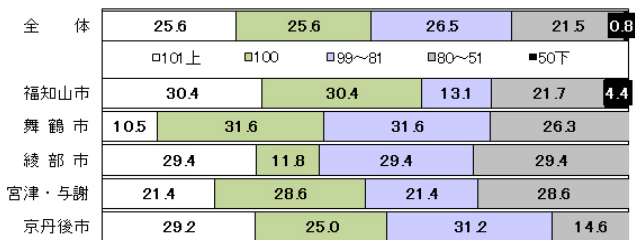


7～9月受注量(3ヶ月前比%)



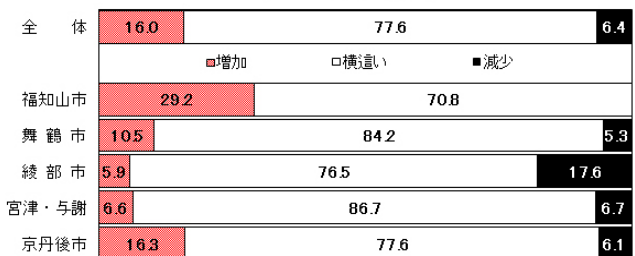
●7～9月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業が51.2%（前回45.9%）と前回より5.3ポイント増加した。舞鶴市及び綾部市域以外の地域で受注能力100%以上の受注確保が5割を超えている。

7～9月受注量(受注能力を100として%)



●10～12月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が16.0%（前回23.4%）と7.4ポイント低下し、減少を見込む企業の割合は6.4%（前回10.5%）と4.1ポイント低下の見通しである。

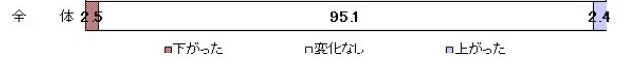
10～12月受注見通し



### 4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は2.4%（前回4.5%）と2.1ポイント低下し、下がったとする企業も2.5%（前回5.4%）と2.9ポイント低下した。また、納期が短くなったとする企業は23.4%（前回25.2%）と1.8ポイント低下した。

7～9月受注単価(前年比%)



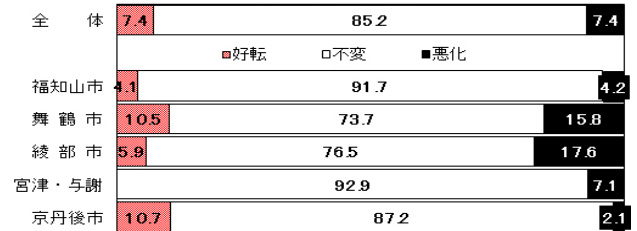
7～9月納期



### 5 資金繰り

●資金繰りは、悪化とした企業が7.4%（前回8.8%）と前回より1.4ポイント減少した。京丹後市域は、好転とする企業が10.7%と最も多かった。

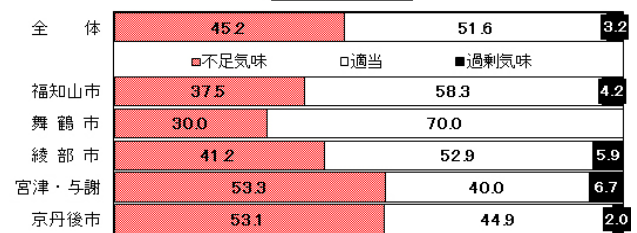
7～9月資金繰り



### 6 従業員数

●従業員数は、不足気味が45.2%（前回41.6%）、過剰気味が3.2%（前回4.0%）となった。全地域において、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っている。

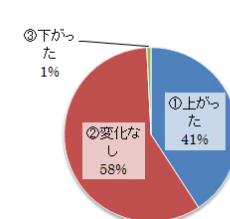
7～9月従業員数



### 7 原材料価格

●原材料価格についての回答は、「変化なし」が58%、「上がった」が41%だった。値上がりした原材料は、鋼鉄が最も多く（53%）、次いで非鉄金属（16%）だった。

原材料費



原材料(値上がり)

